投信フォーラム2019 in 徳島

～未来へ資産を育てよう これから始める投資信託～

資産運用の有効な手段として注目が集まっている投資信託について理解を深めてもらおうと「投信フォーラム2019 in 徳島」（主催・一般社団法人投資信託協会、徳島新聞社、全国地方新聞社連合会）が昨年12月21日、徳島市内のとくぎんトモニプラザで開かれました。第1部では阿波踊り娯茶平連長、岡秀昭さんが特別講演を行い、第2部ではファイナンシャルプランナーの深野康彦さんが投資信託を活用した資産運用の考え方について解説。引き続き、深野さんと運用会社であるフィデリティ投信の藤田薫さん、ジャパンリアルエステイトアセットマネジメントの元岡將さん、岡連長、モデレーターに松谷さんを加え、パネルディスカッションが行われました。少額からできる投資信託や最近よく耳にする「つみたてニーサ」や「イデコ（個人型確定拠出年金）」について約220人の参加者が熱心に耳を傾けました。

第1部 特別講演 「阿波おどり人生」

講師

岡 秀昭 氏

阿波踊り娯茶平連長

おか　ひであき●1941年徳島市生まれ、現在78歳。60年4月1日、娯茶平入連。80年4月1日娯茶平7代目連長に就任、2008年1月から徳島県阿波踊り協会副会長。1970年大阪万博会場で天皇、皇后両陛下に阿波踊りをご覧いただく。2013年には平成25年度徳島県表彰、さらに政府から観光庁長官表彰を受ける。14年7月13日、天皇陛下傘寿（80歳）を祝って皇居・東御苑にある音楽堂「桃華楽堂」で天皇・皇居両陛下、皇太子殿下、秋篠宮ご一家、元皇族の前で一人で阿波踊りを踊った。この時、着て踊った法被は宝物として、今家庭で飾っている。

こんにちは、娯茶平の岡です。私は昭和35年4月に阿波踊り連「娯茶平」に入連しました。

入連後は、仕事と阿波踊りの楽しい人生を歩んでおりました。入連20年目に、6代目連長から、7代目連長を受けてほしいと、申し出がありました。本来なら、喜んで受けるべきでしたが、当時、厚生労働省の外郭団体職員であった私は、転勤の可能性があるため連長はお断りしました。私が勤めていた職場は、40歳まで地元勤務ですが、その後は全国を転勤しながら、課長・部長と昇格していく制度です。しかし、悩んだ末、連長を受けました。

そんな頃、全国紙の新聞記者から取材の依頼がありました。記者曰く「あなたは、阿波踊りをして、出世を断っている。ぜひ取材に応じてほしい」とのこと。取材を受けると、2日後の全国紙に大きな写真入りで掲載されました。タイトルは「出世を捨てたサラリーマン」。続けて、全国紙から取材を受けると「えらいやっちゃ、えらいやっちゃ」の文とイラストで報じられました。その新聞を見た上司や同僚から「岡ちゃん、無茶を言わず転勤受けろよ」と言われました。しかし、出世を諦め阿波踊り人生を選びました。そして、気がつけば、係長のまま60歳の定年を迎え退職。

しかし、踊り続けたおかげで、天皇皇后両陛下の前で4度、阿波踊りを披露することができました。数多くの著名な俳優の方ともご一緒させていただきました。

私の阿波踊りの人生は、出世こそできなかったが、得られたものもあります。それは、多くの人との出会いですね。これは、私の宝です。

私は、色紙に「一生捧げ悔い無し阿波踊り」と書きます。私も78歳となりました。なんとか後、5年ぐらい踊り続け、阿波踊りを後世に残したいと思います。

第2部 パネルディスカッション 「どう使う?知って得するNISAと確定拠出年金」

キーノートスピーチ パネリスト

深野 康彦 氏

（有）ファイナンシャルリサーチ代表、ファイナンシャルプランナー

ふかの　やすひこ●1962年生まれ。FP業界歴31年を誇る。2006年に有限会社ファイナンシャルリサーチを設立。さまざまなメディアやセミナーを通じて、資産運用のほか、住宅ローンや生命保険、あるいは税金や年金などのお金周り全般についての相談業務や啓蒙を幅広く行っている。新聞・マネー雑誌、経済誌などへの執筆・取材協力および金融商品などのデータ提供を行うほか、日経CNBC「夜エクスプレス」で水曜日のアンカーを担当するなどテレビ、ラジオにも多数出演している。著書に『55歳からはじめる、長い人生後半戦のお金の習慣』（明日香出版）など多数。

NISAと確定拠出年金

深野　NISAとは少額投資非課税制度のことで、年間の非課税投資額は120万円で2014年1月から10年間投資が可能です。一人一口座しか開くことができないことや、つみたてNISAとの併用もできないことが注意点としてあります。19歳以下の方が運用できるジュニアNISAというものもあります。

つみたてNISAは長期分散投資に適した商品で、現在173商品あります（2018年10月現在）。新規投資額で年間40万円の非課税投資枠があり、投資可能期間は2018年からの20年間でしたが、税制改正により今後5年間延長される予定です。NISAもつみたてNISAも証券会社や銀行等で扱っていますので、そちらでご相談いただければと思います。

非課税制度は確定拠出年金もあります。iDeCo（イデコ）という名前を聞いたことがあるかもしれません。確定拠出年金は企業型と個人型があり、個人型のものを通常、iDeCoといいます。確定拠出というのは毎月の投資額は決まっていますが、将来入ってくるお金は皆さんの運用の成績によって変わります。老後資金を準備するための制度なので、自由に引き出すことはできませんが、税金の優遇があり、全額が所得控除できるメリットがあります。

投資信託、REITとは

松谷　まず投資信託について藤田さん、REIT（リート）について元岡さんご説明お願いします。

藤田　投資信託とは投資家から集めたお金を一つの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品です。株式ですと、企業の業績や競争環境、景気動向、企業の信用力などを調査する必要があります。一般の方は忙しくてできませんので、皆さんに代わって私たち資産運用会社が調査・運用させていただいています。

元岡　REITとは不動産投信のことです。不動産投資法人が、投資家や金融機関から調達したお金で不動産に投資し、賃貸料などから管理手数料や資産運用会社の運用資金を差し引いた利益を金融機関や投資家に還元するものです。

REITが株式と異なるところは、利益に対し、法人税が無く、収益分配率が高いのが特長です。株式ほど価格が上下しませんが、債券ほど元本が保全されていない、ミドルリスク・ミドルリターンの金融商品といわれています。

松谷　なぜ投資をすることがいいのか。いろいろご意見あると思います。皆さんいかがでしょうか。

藤田　現在は低金利時代です。今ではキャンペーン金利でも0・2%、0・3%です。また、日本は世界一の高齢化社会ですので将来的な高齢者向けサービス高騰への備えが今から必要です。

深野　リスクを避けようと思うのは普通です。しかし、これからの時代、リスクというのは避けるものではなく、共存していくものと理解していただきたいと思います。預貯金の場合、元本は保証されていますが、物価の上昇に負けています。現在は物価が上がっています。そういう意味では預貯金にもリスクはあります。

パネリスト

藤田　薫 氏

◆フィデリティ投信㈱
セールスサポート部長兼
シニア・プロダクト・ストラテジスト

ふじた・かおる●2005年フィデリティ投信㈱入社。約10年にわたり投信営業業務に従事し全国で1,000回を超える投資セミナーを実施。2015年にロンドン拠点に駐在した後、2018年1月より現職。国内外の運用部門との密接な連携により市場動向や運用戦略に関する情報提供等に従事。

パネリスト

元岡　將 氏

◆ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント㈱
執行役員企画部長

もとおか・まさる●1992年三菱地所㈱入社。東北支店にてオフィスビルの管理運営業務及びテナントリーシング業務、経理部にて会計業務に従事。2010年同社経理部副長。2015年に三菱地所のグループ会社であるジャパンリアルエステイトアセットマネジメント㈱に出向、財務部にてファイナンス業務に従事。2019年4月より現職。

長期、積立、分散でリスクコントロール

藤田　皆さん、投資をしようと思ったとき、最初に考えることはどんなことでしょうか。どうせなら儲かるほうに投資したいと思いますよね。しかし、急激に値上がりするものは、急激に下がることがあります。資産形成をする場合は、値動きの激しさを減らす必要があります。その場合、長期投資や違う値動きをするものへの分散投資が有効となります。

例えば、3万円×20年間の積み立てをしたとしましょう。タンス預金だと720万円です。預貯金の場合、年間0・2%の利子が付いて734万5千円になります。ほとんど増えませんね。これが年間利回り4%だと、720万円に380万円が乗っかり1100万円に増えます。利回り3～4%ですが、時間を味方にコツコツ運用すれば大きなメリットとなるのです。

元岡　長期・積立・分散は基本的にはリスクを抑える効果をもちます。様々なREIT、株式や債券、あるいは国内のものだけでなく、海外のものに分散させてリスクコントロールを行うことが有効です。

松谷　長期ということですが、どのくらい積立をするべきでしょうか。

藤田　「資産運用シミュレーション」と検索してください。利回りや期間を入力すると将来の受け取る金額が分かり、自分の目的のためにどのような運用が必要か分かります。

深野　低金利時代の現在では、預金だけでは全員がハッピーになれません。金利が低いときほど、長期・積立・分散などを取り入れ、創意工夫をしてください。早くやるほど有利です。

日本人は真面目で完璧を求めがち。完璧を求めず、ある程度理解したら少しずつ始めてください。投資信託は数千円からはじめられます。通常の投資でもNISA・つみたてNISAでも途中で商品を変えることができます。投資額が大きいと思えば減額することもできます。

人生100年時代。岡連長は78歳ですが、今から投資をされても遅くはありません。お金をどんどん回して経済が活性化すれば、次世代に残せるお金が増えます。親が投資をしたものは子ども、孫にまで受け継ぐことができます。自分の代だけではなく、「次世代に受け継いでもらう」という発想で資産形成をしていただければ幸いです。

モデレーター

松谷 博司

◆投資信託協会 会長

第2部パネルディスカッション参加者

■キーノートスピーチ・パネリスト
深野 康彦氏　（有）ファイナンシャルリサーチ代表、ファイナンシャルプランナー
■パネリスト
岡　秀昭氏　阿波踊り娯茶平連長
藤田　薫氏　フィデリティ投信㈱セールスサポート部長兼シニア・プロダクト・ストラテジスト
元岡　將氏　ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント㈱執行役員企画部長
■モデレーター
松谷 博司　投資信託協会 会長

主催／一般社団法人投資信託協会、徳島新聞社、全国地方新聞社連合会　後援／金融庁、金融広報中央委員会、財務省徳島財務事務所、信託協会、全国銀行協会、日本証券業協会、日本取引所グループ、不動産証券化協会、共同通信社

未来へ資産を育てよう　これから始める投資信託

人生100年時代への備えを今から考え始めませんか?

「投資ってなんだかこわい」「なんとなく難しそう」と思っている方に、

投資信託協会ホームページでもっと詳しく!

◆初心者にもわかりやすいコンテンツが充実。
◆著名人のインタビューや資産運用を学ぶコラムを収録しています。

はじめての資産運用でも安心

これから資産運用をはじめる方に、ライフプランの考え方や資産形成の考え方、投資のイロハまで、コラムや動画、マンガでわかりやすく解説します。

無料　ガイドブックプレゼント（各1冊セット）

個人投資家を応援する税制優遇制度「NISA」や「つみたてNISA」についても解説しています。

これから投資をはじめる方、投資信託つみたてBook等も一緒にお送りします。

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会TK係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

一般社団法人 投資信託協会
The Investment Trusts Association, Japan
JITA

www.toushin.or.jp
投資信託協会　検索